

伝える力がアップする！

☆☆☆チャレンジ国語☆☆☆

2

- 1 知識5 (月 日) 6 活用9 (月 日)
- 2 知識6 (月 日) 7 活用10 (月 日)
- 3 知識7 (月 日) 8 思考・表現1 (月 日)
- 4 活用7 (月 日)
- 5 活用8 (月 日)

なぜ、この答えになるのだろう。

自分の答えとの違いを考えてみよう。

- ※ 計画を立てて取り組みましょう。
 - ※ 解答例 (p. 24～) が付いています。
- やり直しまでがんばりましょう！



年	組	番	名前	
---	---	---	----	--

年	組	番	名前

1 野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う【報告場面の一部】です。これをよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【報告場面の一部】

石川 学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかがやくイメージの言葉にするところまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを

中島さんのグループから順番に報告してください。

中島 私のグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまとまりました。

西山 ぼくのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るいいし、まわりをあたたくくすることもできるからです。

野村 私のグループも、明るいいというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかがやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまとまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

～(報告が続く)～

(問い) 野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 話し合って一つにまとまったことを報告している。
- 2 一番多く出されたことを報告している。
- 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
- 4 同じ意見でも理由がちがうことを報告している。

松本さんは、昔の人々のくらしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いています。次の【山村さんへの手紙】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はおいそがしいところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございます。実際に資料館を見学することで、昔の人々のくらしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよなよなこれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、よごれを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいくなりました。これから、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

ウ	ア	イ
---	---	---

一 松本さんは、【山村さんへの手紙】の

でどのようなことを書いていますか。そ

の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 見学をして興味をもったことについて、本で調べたことを書いています。
- 2 今と昔の生活のちがいについて、体験して気づいたことを書いています。
- 3 山村さんの話の中で、一番心に残ったことを書いています。
- 4 見学をして新たに疑問に思ったことを書いています。

二 松本さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）を書こうとしています。【山村さん

への手紙】の

ア

・

イ

・

ウ

の中に入る内容の組み合わせとして最も適

切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | ア | イ | ウ |
| | 自分の名前 | 日付 | 相手の名前 |
| 2 | ア | イ | ウ |
| | 日付 | 相手の名前 | 自分の名前 |
| 3 | ア | イ | ウ |
| | 相手の名前 | 日付 | 自分の名前 |
| 4 | ア | イ | ウ |
| | 日付 | 自分の名前 | 相手の名前 |

年	組	番	名前
---	---	---	----

3

新聞委員の小野さんと今村さんは、「時の記念日」について特集した内容を六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【資料】を見つけました。これをよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【資料】 段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

「時の記念日」はどんな日？

- 1 昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水や砂の落ち方、線香の燃え方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国から伝わった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であったと言われています。
- 2 「日本書紀」には、「天智天皇の十年四月二十五日(今のこよみでは六七一年六月十日)に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時の記念日」となりました。
- 3 「時の記念日」は、時間を守って行動し、規則正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとする意識を高めていくために定められたとされています。
- 4 「時の記念日」は、国民の祝日には制定されていませんが、多くの人々によく知られる記念日となっています。
- 5 現在、六月十日には時間や時計に関する催しが行われているところもあります。

(問い) 小野さんは、「なぜ六月十日が『時の記念日』なのか」、今村さんは、「なぜ『時の記念日』を設定したのか」についてまとめています。二人は【資料】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を【資料】の中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

小野さん……

今村さん……

4

中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】と好きな俳句を紹介するための【話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【俳句カード】

ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな

小林一茶

（調べた内容）

季語：雪とけて 季節：春

この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。

イ ひやひやと月も白しや秋の風

上島鬼貫

（調べた内容）

季語：秋の風 季節：秋

この俳句は、「秋のこちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。

【話し合いの様子】

北田 アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」がおもしろいね。声に出して読んでみるよ。（音読）
中西 リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。

「くりくり」というのは、月の（A）を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。

本間 イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似ているね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさをもっと伝わりそうだよ。（音読）

「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。

青木 そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西 作者の伝えたかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。

中西さんは、【話し合いの様子】の（A）でどのように発言したでしょうか。（A）に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 かすんでいる様子
- 2 まっ白い様子
- 3 まんまるい様子
- 4 欠けていく様子

二 中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについても紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 言葉のひびきや作者の季節を感じる心
- 2 それぞれの作者の生き方や考え方
- 3 月の形が変化する様子や構成のくふう
- 4 季語の使い方や季語から想像したこと

年	組	番	名前
---	---	---	----

5

古川さんは、ことわざの意味を辞書で調べて、ことわざカードを作っています。次の

ア

イ に入れることわざの使い方の例として最も適切なものを、あとの1から3までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

三度目の正直

(意味) 一度や二度で思い通りにならなくても、三度目ではうまくいくものだ。

(使い方の例)

ア

1 どんなに得意なことでも、時には失敗することももあるよ。三度目の正直だよ。

2 多くのものを一度にやろうとするとうまくいかない。三度目の正直だね。

3 一本めと二本めのシユートは外れたけど、次は決まるよ。三度目の正直だよ。

もちほもち屋

(意味) 何事も、それぞれのせん門家や得意な人にまかせるのが一番だ。

(使い方の例)

イ

1 もちほもち屋と言うように、人の好みはいろいろで、しゅみはいろいろあった方がよい。

2 もちほもち屋と言うように、卓球たっきゆうの審判しんぱんなら卓球クラブの友達にたのむ方がよい。

3 もちほもち屋と言うように、好きな作家の本を見つけたら時間を気にせず読んだ方がよい。

谷川さんは、歌舞伎の作品「外郎売」を音読して、気がついたことをノートにまとめています。
 ※1 歌舞伎 ※2 ういろうり
 次は、音読した【「外郎売」の一部】と【ノートの一部】です。谷川さんが気がついたことの説明として
 最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【「外郎売」の一部】

がらびいがらびい風車
かざぐるま
 おきやがれこぼし
 おきやがれこぼし
 ゆんべもこぼして
 またこぼした
 たあぶぼぼ たあぶぼぼ
 ちりから ちりから
 つったっぼ

【ノートの一部】

- 音読して、気がついたこと
- ・くりかえしが多い。
 - ・似ている言葉がある。
 - ・早口言葉のようでおもしろい。
 - ・拍子ひょうしを取りたくなる。

※1 「歌舞伎」……約四百年前に始まった演劇

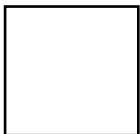
※2 「外郎売」……「外郎」という漢方を売り歩く人

1 使われている言葉やリズム、声に出したときの感じをまとめています。

2 言いかえが多いので、意味がとらえにくくなっていることをまとめている。

3 昔の人々の声の出し方のちがいに注目して、昔と今のちがいをまとめている。

4 くりかえし出てくる言葉を、どのように読むと分かりやすいかをまとめている。



7

(1)	たいしょう	
(2)	きぼう	
(5)	おいて	(いて)

大きくていねいに書きましよう。
消すときには消しゴムできれいに消しましよう。

(3)	期限	
(4)	事務室	
(6)	指示	

4年生のみなさんへ

放送委員会

委員会活動の体験のお知らせ

1 日時 2月19日(月)～2月22日(木)
10時25分から10時45分まで

2 集合場所
多目的ルーム



3 参加 たいしょう
(1) 4年生の きぼう者
(2)

4 申し込み 期限と申し込み方法
(3)
・ 2月14日(水)までに申しこんでください。
・ 事務室前に申し込み用紙と箱が おいてあり
(4) (5) ます。用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れてください。

5 お願い
・ 当日は、全員が体験できるように、放送委員の 指示にしたがってください。
(6)

年	組	番	名前
---	---	---	----

1 松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、立場を決めて話し合うことにしました。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

司会 自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について、三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこの言葉はどう使っていくとよいかについて全員で話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

田中 ぼくは、言葉はみだれていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を選んだ人は四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使い方をしているようです。

北川 私も、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いからです。例えば、「今年もよろしくお願いします」を「ことよろ」と言うことがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

小池 私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では、「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、あとにくるのが打ち消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは思えないと思います。

司会 ありがとうございます。それぞれの発表に対して質問はありませんか。

★木村 小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

小池 例えば、「見れる」という言葉があると思います。私たちは「見ることができる」という意味で使っていますが、辞書には、本来は「見られる」と言うべきものと書かれていました。

司会 ここまで代表の人に考えを発表してもらいました。田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉はみだれているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉はみだれているという考えでした。小池さんは、言葉の使われ方は時代によって変わるものだから、言葉はみだれていないという考えでした。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。

金子 田中さんが話したように、ぼくも本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。これからは、よく使っている言葉でも、疑問をもったときは意味を調べてみたいと思います。

青木 本来の意味とは異なる使い方をしていると田中さんは言っていました。そのような使い方をしても、自分の思いが相手に伝わることはあると思います。相手の理解を確かめながら言葉を使っていると思います。

年	組	番	名前
---	---	---	----

2

星野さんは、給食の献立こんだての一つである「かみかみあえ」のよさをもっと知ってもらい、各家庭でもメニューの一つに加えてほしいと思っています。次は、星野さんが以前書いた「かみかみあえ」についての【紹介する文章】と、それをもとにしておうちの人に書いて書いている【おすすめする文章】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

かみかみあえ



【紹介する文章】

「かみかみあえ」は、※するめが入っていて、よくかんで食べるこんだてです。そのため、このような名前がついています。

するめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろいろも考えられています。

中華風ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいます。

【おすすめする文章】

「かみかみあえ」は、するめが入っているあえ物です。よくかんで食べることから、このような名前がついています。おうちの人に、この「かみかみあえ」を、サラダやあえ物のメニューとしておすすめします。

するめのほかにも、にんじんやきゅうり、もやしなどの野菜が入っていて、栄養のバランスやいろいろも考えられています。中華風ドレッシングの味やするめのうまみが野菜にしみこんでいて、たまらないおいしさです。

特におすすめしたい理由は、次の二つです。

一つ目の理由は、「かみかみあえ」が、人気のこんだてであることです。

六年一組で以前行ったアンケートでは、サラダやあえ物のうち、好きなこんだての上位三つに入っていました。六年一組では、「ツナマヨサラダ」と同じくらい人気があるこんだてです。きっと、ほかの学級でも好きな人が多いと思います。

二つ目の理由は、「かみかみあえ」にむし歯を防ぐ効果があることです。

同じサラダやあえ物の中で人気のこんだての一つである「ツナマヨサラダ」と比べると、「かみかみあえ」の方が、よりむし歯を防ぐ効果があります。

「かみかみあえ」は、

おいしくて、みんなに人気があり、歯の健康を保つことにもつながる「かみかみあえ」をぜひ、おうちのメニューの一つに加えてください。

年	組	番	名前
---	---	---	----

3 山下さんは、日本人で初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士ゆかわひできはかせについて書かれた伝記「湯川秀樹」を読み、最も心がひかれた一文とその一文を選んだ理由をまとめることにしました。次は、山下さんの【ノートの一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノートの一部】

湯川秀樹（一九〇七年～一九八一年）

物理学者。全てのものは非常に小さいつぶからできており、そのつづに開する新しい考えを導き出した。その後、日本人で初めてノーベル賞を受賞し、戦後の日本に希望をもたらしした。

心に残った行動や成しとげたこと	思ったこと
<p>おさないころの湯川博士は、一人で黙々と積み木に熱中していた。長い時間、積み木を重ねたり組み合わせたりして、家や門を作っていた。</p>	<p>物事への熱中の仕方がすごい。わたしもパズルに熱中することがあるけれど、そんなに長くはできない。</p>
<p>A 小学校に入る前から高校のはじめのころまで書道を習っていた。最初は兄弟姉妹<small>しまい</small>の全員が習っていたが、兄たちはいつの間にかやめてしまった。だが、湯川博士は習い続け、様々な書き方を身につけた。</p>	<p>続けることは大変だけれど大切だ。わたしは水泳を習っている。やめたいと何度も思ったが、続けたことで、長く泳げるようになった。</p>

<p>数学によって考えることの喜びを教えられた。むずかしい問題に出会うとファイトがわき、夢中になって解いた。夕食を知らせる母の声も耳に入らず解いていた。</p>	<p>わたしはむずかしい問題は、すぐにあきらめてしまう。湯川博士はなぜそこまで夢中になれるのだろう。</p>
--	--

<p>大学を卒業した後も引き続き大学に残り研究を続けたが、なかなか成果を出すことができなかった。研究の見通しがつかず、苦しい日々が続いていた。</p>	<p>湯川博士も苦しいと思うときがあったということにおどろいた。</p>
<p>B 家族から外国への留学をすすめられた湯川博士は、自分の仕事を一つ仕上げた上でなければ、外国へ出かけたくなないと断った。自分の力で、やれるところまでやってみたい。何度失敗してもよいと考えた。</p>	<p>一度始めたことはなかなかやめないという湯川博士のことをよく表している。</p>



C 最も心がひかれた一文とその理由

一 山下さんは、【ノートの一部】の **A** について、もっとくわしく知りたいことがあったので、湯川博士が自分のことを書いた本である【自伝「旅人」の一部】をさらに読みました。山下さんはどのようなことが知りたくて次の文章を読みましたか。その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

【自伝「旅人」の一部】

先生は端然と、はかまをはいてすわっていた。私たちが座敷に出ると、いつも先生の方から先にお辞儀をされる。男の兄弟たちは、だいぶ、へきえきしたらしい。何時とはなく、次第にけいこをやめてしまった。が、私だけは長くつづいた。

「あなたが一番上手です」という先生の言葉に、おだてられた気味もないとはいえないが、私一流の辛抱つよさが、いったん始めたことをなかなか捨てさせなかったということもあつた。

(湯川秀樹「旅人 ある物理学者の回想」による。)

- 1 湯川博士が自分自身をどのように思っていたのか。
- 2 湯川博士がどのような書き方を身につけたのか。
- 3 湯川博士がどのような研究に取り組んでいたのか。
- 4 湯川博士の兄弟姉妹はどのような様子だったのか。

二 山下さんは、最も心がひかれた一文として、**B** の中から「自分の力で、やれるところまでやってみたい。」を選びました。そして、【ノートの一部】の **C** を書くために、もう一度伝記「湯川秀樹」を読み返しています。次の【伝記「湯川秀樹」の一部】を読み、**C** の に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましよう。

【伝記「湯川秀樹」の一部】

秀樹は、大学を卒業した後も引き続き大学に残って研究を続けたが、なかなか成果を出すことができなかった。そのころ世界では、秀樹が取り組んでいる研究の分野で新発見が相次いでいた。研究の見通しがつかず、秀樹にとって苦しい日々が続いていた。

昼夜を問わず、秀樹の頭の中には研究のことがあつた。ふとんに入ってからも研究のことを考え、次々にうかんできてくるアイデアをわすれないために、まくらもとはノートを置くようにした。そして、アイデアを思いつぐごとに電灯をつけてノートに書きこむようにし、ねばり強く考え続けていた。秀樹は、だれも知らない真実を探ろうとしていたのである。

年	組	番	名前
---	---	---	----

1 石田さんは、日本語を学んでいる外国の人たちに、「折り紙」について紹介するスピーチをするため、友達に助言してもらいながら練習しています。次は、「スピーチメモ」、「スピーチの練習の様子」、「グループの話し合いの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

- 1 折り紙とは(紙を折って、いろいろな形を作る遊び)
- 2 自分の経験(実際に「つる」を見せる)
- 3 折り紙の例(「風船」「紙飛行機」「手裏剣」など)
- 4 折り紙のみりよくとは
(色やまようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作るができること)
- 5 まとめ
(体験コーナーのしようかい)



【スピーチの練習の様子】(動画で記録したもの)



私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。



私は、小さいころにおばあちゃんに教えてもらった「つる」を折るのが得意です。これは、私が折った「つる」です。



他にも、「風船」、「紙飛行機」などを作ることができます。友達と一緒に作ると楽しいです。



折り紙のみりよくは、色やまようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることだと、私は思います。



このあとの体験コーナーで作り方を教えますので、みなさんも、ぜひ一緒に作って楽しんでください。これで、折り紙の紹介を終わります。

年	組	番	名前
---	---	---	----

④ 京子さんの学校では、図書委員が交代で学年の友達に向けた「図書委員会だより」について良一さんと話し合っている場面です。

京子 先週、良一さんに借りた、この新聞の切りぬき(「資料1」)がとても参考になったわ。

良一 そうでしょう。小学生の読書についての資料だから、京子さんの「図書委員会だより」に使えないかなと思っ
て。

京子 ありがとう。でも、このグラフ、ちょっと残念な結果だよね。

良一 どうして残念だと思ったの。

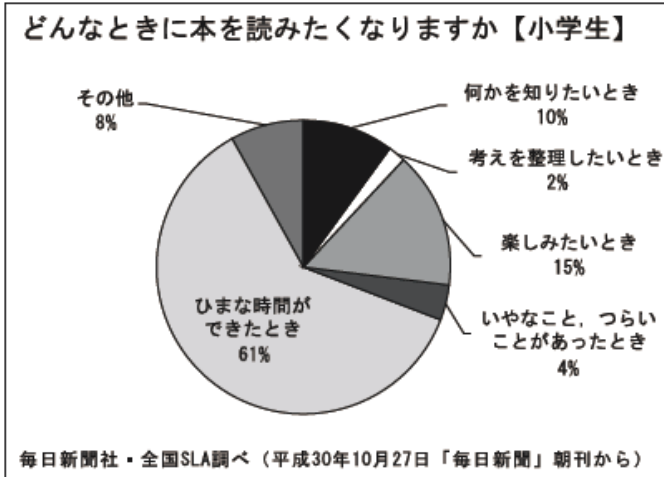
京子 「ひまな時間ができたとき」と答えた人が半数以上もいるのよ。

良一 ① 確かに半数以上だけど、どうしてそのことが残念なの。
② なんだか、「ひまな時間ができないうちは本を読みたくな
らない」という小学生がたくさんいるように思っ
て。図書委員としては、もっと積極的な理由で本を
読んでもらいたいな。

京子 ② 積極的な理由って、例えばどんな理由なの。

良一 「ひまだから読む」じゃなくて、例えば、「自分を高
めたいから読む」のような理由のことよ。

【資料1】



二人の話は続いています。

京子 私は、こんな資料(「資料2」)も見つけたわ。同じ日の新聞にのっていたの。

良一 どれどれ。ああ、これは「大人が本を読む理由」についてのグラフだね。

京子 そうなの。ほら見て。「知識や教養を深めるため」だとか、「人生の手がかりを得るため」だとか、本を読む積極的な理由がいろいろあるでしょう。

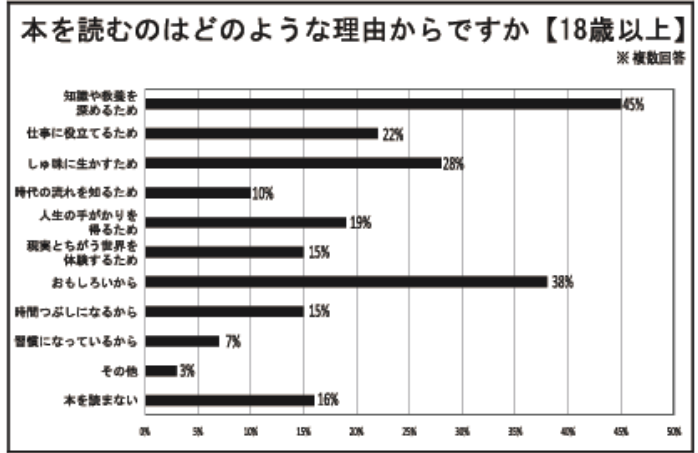
良一 【資料2】の、この「ひまな時間ができたとき」という理由は、「資料1」の「ひまな時間ができたとき」に似ているね。

京子 そうなの。でも、小学生に比べて大人はずいぶん少ないでしょう。私はこのグラフから、大人は積極的な理由で本を読んでいる人が多いんだって感じたわ。

良一 なるほどね。

京子 私が書く「図書委員会だより」では「資料1」と「資料2」の両方を使うことにしようかな。そうすることで、みんなに、「本を読む理由」について具体的に考えてもらえるんじゃないかしら。

【資料2】



1 京子さんは、**みなさんへのお願い**の部分に、次のような二つの文を書こうとしています。

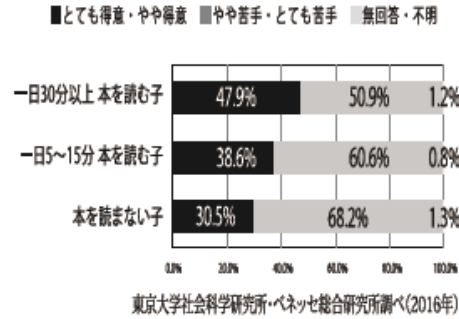
本はあなたを高めてくれる友人です。
ではありません。

京子さんは、読み手の印象に残るよう、この二つの文で書くことにしました。

中から十五字でぬき出しましょう。

【図3】

◆すじ道を立てて考えることが得意ですか【小学4～6年生】



2 京子さんは、**読むことで身に付くもの**の部分に、本を読む

ことで身に付くと考えられるものを上のグラフ【図3】を用いながら、書こうとしています。

【図3】のグラフから考えられることを次の条件にしたがつて書きましょう。

〈条件〉

- ① 前と後の二つの部分に分けて書くこと。
- ② 前の部分には、調査の結果【図3】に表れている事実を、**四十五字以上、九十字以内**にまとめて書くこと。
- ③ 後の部分には、その事実から考えられることを、**二十五字以上、五十字以内**にまとめて書くこと。

読むことで身に付くもの

【図3】の調査によると、

90字

45字

という結果が出ています。この結果から、

50字

25字

のではないかと考えられます。

				1
三 例				ニ 一
て	考	れ	省	
い	え	か	略	北
き	な	ら	し	川
た	が	は	て	さ
い	ら		話	ん
と		相	す	が
思	言	手	人	話
い	葉	や	は	し
ま	を	場	確	た
す	な	に	か	よ
	る	合	に	う
	べ	っ	多	に
	く	て	い	、
	省	い	と	わ
	略	る	思	た
	せ	か	い	し
	ず	ど	ま	も
	に	う	す	言
	使	か	。	葉
	っ	を	こ	を

※の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

チャレンジ国語「活用7」

100字 80字

6	イ	5	ア
1	2	3	

7

(1)	たいしょう	対象
(2)	きぼう	希望
(5)	おいて	置 (いて)
(3)	期限	きげん
(4)	事務室	じむしつ
(6)	指示	しじ

チャレンジ国語「知識7」

4	3
二 一	
1 3	今村さん
	小野さん
	3 2

チャレンジ国語「知識6」

2	1
二 一	
4 2	3

チャレンジ国語「知識5」

チャレンジ国語「活用8」

2

2

※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

			例		
三	保	め	よ	「	一
3	つ	、	く	か	2
	の	だ	かん	み	
	で	液	んで	か	
	、	が	食	み	
	む	た	べる	あ	
	し	く	こん	え	
	歯	さん	だ	」	
	にな	出	た	は	
	り	て	て	、	
	にく	、	で	す	
	い	口	す	め	
	の	の中	。よ	が	
	で	を	く	入	
	す	きれ	か	っ	
	。	い	お	て	
		に	む	い	
			た	て	
				、	

80字

チャレンジ国語「活用9」

3

1

※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

			例		
	よ	れ	か	を	ま
	う	な	ら	問	た
	に	い	も	わ	、
	し	た	次	ず	湯
	て	め	々	研	川
	い	に	に	究	博
	た	、	う	の	士
	。	ま	かん	こ	は
		く	で	と	大
		ら	くる	を	学
		も	る	考	を
		と	アイ	え	卒
		に	デー	、	業
		は	ィ	ふ	し
		ノ	ア	と	た
		ー	を	ん	後
		ト	わ	に	も
		を	わ	入	、
		置	す	っ	昼
		く		て	夜

100字

60字

